

一期一会



ご挨拶が遅くなりました。今年度からサントピア学園サービス管理責任者に就任となりました坂本健乃介です。早いもので、あいわ会に入職してから九年目となりました。障害福祉に携わって年々利用者様のことを理解できてきたのかなと思う反面、難しいと感じてしまうこともあります。しかし、様々な施策を講じた上で利用者様の心の状態が良い傾向に向かっていく過程は我々福祉に携わる職員にとってのやりがいがあり、モチベーションでもあります。昨今、少子高齢化により人材獲得は困難を極めますが、この少や千方百達の居場所をなくしてはならないという決意の下、今後人材獲得、人材育成、より良いサービスに努めて参りたいと思います。

利用者様におかれましてはコロナウイルス流行の中、約二年間行動を制限されてきました。その中でも楽しい活動を提供できるよう学園としても様々な取り組みを試みてきました。今年度からは毎日の活動を充実させるべく、マイクロバスのドライバーを増員し、なるべく外に出て公園やダムなどを歩行、ドライブを実施しております。手前味噌でございますが利用者様の笑顔、満足の声も増えております。運動の頻度を増やし、心身ともに健康でいられるようこの取り組みを継続して参りたいと思います。ご家族様におかれましては、帰省の制限をかけており大変ご不便をおかけしております。コロナウイルス制限緩和の兆しが見えておりますのでもうしばらくお待ちください。長い挨拶になりましたが、今後ともよろしくお願ひいたします。

サービス管理責任者 坂本健乃介

ご挨拶

今年度より学園のサービス管理責任者に就任しました本田咲希子です。五年ぶりに忘戻つてきましたが、時の流れは早いもので、利便性の皆さんは昔のことともたくさんある中で、利用者の方の心のさせらることばかりです。えで、感心させられることばかりです。

就任した時に個人目標を立てました。

①コロナ禍ではありますが、楽しみなイベント等の企画を増やすこと。

②行動障害をお持ちの利用者への支援に一層力を入れること。

③職員の専門性のスキルアップ

すの三つを掲げ、邁進していけたらと思います。至らぬ点も多いかと思いますが、精一ましまります。していきますので、宜しくお願い致します。

サービス管理責任者 本田咲希子



「春の外出」

四月の五・六・七日に三日連続で三班に分
かれて花見外出に行つてきました。



生活支援員
木下明美

が過し日出が残百弁『てまこま食堂
多ごたが來、念花當と食べ
くしり當ま風な台公園でが怖るた舞ら
見方、たとしてが場。う、できま食
られそがは桜満のれ
まれり所こ桜満のれ
しそなでのの開んな
たれがは三花のびいの
◦違ら汗日び桜りくボリューム
つもば間らとと過いごのおたつ
て滑むとには春いごしきや
いり陽も春いごしきや
ま台氣晴をきしまつたつ
しにで天感まで挑しにじせきつ
た挑しにじせきつ
が戦た惠るんまをぶ
、し。まこでし持つ
笑た散れとしたつ
顔り策、がた。てお



◆活動班紹介① しづく女性班

今年度もコロナ禍により活動班が男女の二班に分かれることになりました。女性利用者十八名、支援員十二名の計三十名の構成になっています。朝は九時ごろから開始です。まずは健康チェックから。検温し、血圧を測ります。皆の体調を確認し、それぞれの活動に入ります。天候の良い日は園庭や園外に散歩に行ったり、ドライブも兼ねて近隣の公園まで行つたりして周辺を散策します。レクリエーションではカラオケが人気です。皆で手拍子をして盛り上がりります。まだ、月に一回程度しか出来ていませんが、おやつ作りは好評です。どら焼き・お好み焼きを作りました。今度は鈴力ステラを作ります。卵を割るのは緊張の一瞬ですが、殻が入つても大丈夫=材料を入れてかき混ぜたり、生地をひっくり返すのも上手に出来ないこともあります。皆で楽しく、そして美味しく頂いています。まだまだコロナ禍で生活面に制限がかかりますが、出来るを見つけ今年も一年色々なことにチャレンジして行けたらと思っています。



チーフ 山中 敦子

思い出の写真



△活動班紹介② しづく男性班▼

コロナ禍で日中活動が続いている。したが、四月より支援員員が増えたのと同時に社会的にコロナ自粛が少しずつ緩和されてきた為、今年度の活動は「外に出る」事をモットーに車両で他の地域の公園やグラウンド等へ出向き、歩行や散歩を行っています。利用者の皆様もドライブ等で、学園の外に出ることを非常に楽しんでおられ、体力の向上や精神の安定に非常に良好だと感じています。毎日全員でとはいきませんが、少なくとも一週間に一度は行けるよう日程を組んでいます。

チーフ 梶山 健一

外国では、ノーマスクが主流になつてきております。日本ではそつうまでですが、殊に施設に関してもなつておさら着けないわけになります。閉塞感が漂う状況の中ですが、「一期一会」をお届けします。

きいていますが、ノーマスクが主流になつてきております。日本ではそつうまでですが、殊に施設に関してもなつておさら着けないわけになります。閉塞感が漂う状況の中ですが、「一期一会」をお届けします。

作業が遅くなかったり次回は九月末の予定です。お待ちしていきます。次だけ発行できるよう紙面の充実を図ればと思っています。少しでも利用者や支援員等のお待ちはしていません。

編集後記

【退職者・退所者のお知らせ】

支援員では四月末で内田さん、六月末で木下さんが退職されました。また、利用者では、五月末で坂口さんが退所され、老人施設へ転所されました。新天地で新しい生活がより良いものになりますようお祈り申し上げます。



「お世話になりました」この度、六月末日をもちまして退職することとなりました。月日が経つのは早いもので、こちらに就職して七年と三ヶ月になります。障がいを持つ方との関わりが全くなかつた私に勤まるのだろうかと不安に感じたことを思い出します。正直、楽しいことばかりではない出します。されんでしたが、とてもいい経験をさせて頂いたと思います。大変お世話になりました。ありがとうございました。

生活支援員 木下明美

(合屋・江口・相川)

発行：社会福祉法人あいわ会
障害者支援施設サントピア学園
TEL：095-839-2400
FAX：095-837-1500
発行日：令和4年7月1日